

地域医療連携室だより

2018年12月発行

みゆき会病院 地域医療連携室 TEL023-672-8282 / FAX023-673-2561(直通) 第3号

『聞いてみました』~VOL1

日ごろより連携室をご活用いただきありがとうございます。

今回より、みゆき会病院と地域の皆様とがつながる取り組みを、紹介していく企画『聞いてみました』を始めていきます。

第一回目は、法人本部リハビリ部門統括、みゆき会病院リハビリセンター長である 冨田 利信センター長に当院が行っている地域活動について「聞いてみました。」

法人本部リハビリ部門統括

みゆき会病院リハビリセンター長

冨田 利信



みなさんこんにちは。リハビリセンター長の冨田です。

今回はみゆき会が行っている「地域活動」について、リハビリの立場から少し紹介させていただきたいと思います。

ご存知のようにみゆき会は「医療」と「介護」をそれぞれの保険制度で行っており、それが当会の活動のほとんどです。しかし実はこの陰に隠れて地域活動も行っています。具体的には「介護予防(教室)」と「地域支援(会議参加)」、それに「体験学生(受入れ)」です。

さて、この原稿を書いている今、国会では外国人労働者の受け入れについて激しい議論が行われています。少子高齢化によって生産労働人口が急速に減っており、このままでは産業が衰退するからだそうです。当会のお膝元である上山市も少子高齢化については例外でなく、むしろ国の平均のはるか先をいっています。ただし、お年寄りが多いこと自体は何も悪いことではありません。元気なお年寄りが生き生きと活躍され、できれば仕事もしてくれると地域は活気づきます。しかし、逆は大変困るのです。そこで、そうならないように十数年前から「介護予防(教室)」を始めました。健康寿命を延ばしていつまでも自分のことは自分でできることが目的です。介護予防や健康推進事業には色々なスタイルがありますが、当会が一番積極的に行っているのが上山市からの委託事業「短期集中型通所サービス(C型)」です。今は、2週に一度、3か月間、土曜の午後に約10名を対象に年間2コース行っています。最初と最後に運動機能や生活機能を詳しく評価し、3か月かけ自分にあった運動や生活スタイルをアドバイスします。これまで総勢400名以上が参加されました。他にも健康推進事業などの依頼があれば市内外・県外にも出向き、講話や実技も行っています。「転倒予防」や「老けない体づくり」など人気があります。

『聞いてみました』

「地域支援」というのは市町村の地域包括ケア会議へのリハ職派遣です。これも療法士が市内外の会議に参加し、多職種と連携し難しい事例への介入などを検討しています。これは療法士の職能団体の依頼で行っています。

また最後に、最近学校から要望が多いのは「学生の病院の仕事体験」です。専門職の実習とは別に、中学生から高校生まで、リハビリに限らず将来医療の仕事に就きたい学生を多数受け入れ、見学から模擬体験まで医療の仕事を体で感じて帰ってもらっています。今年はずでに3校が来ています。

このように、ほんの少しですが当会は地域活動にも参加しており、地域のみなさんのお役に立ちたいと考えています。

【介護予防教室の様子】

